

学校評価報告書

(R6→R7)

保護者・児童・教職員アンケートまとめ

作成日：令和 7 年 1 1 月 2 5 日

作 成：さいたま市立沼影小学校

はじめに

この報告書では、令和 6 年度と令和 7 年度の学校評価アンケートの結果を比較し、肯定的・否定的な回答の変化に着目して分析を行った。全体として肯定的な回答が増加している項目が多く、学校の取り組みが子どもたちや保護者により伝わってきていることがうかがえる。一方で、否定的な回答が増えている項目もあり、丁寧に改善へつなげていく必要がある。

1 保護者アンケート

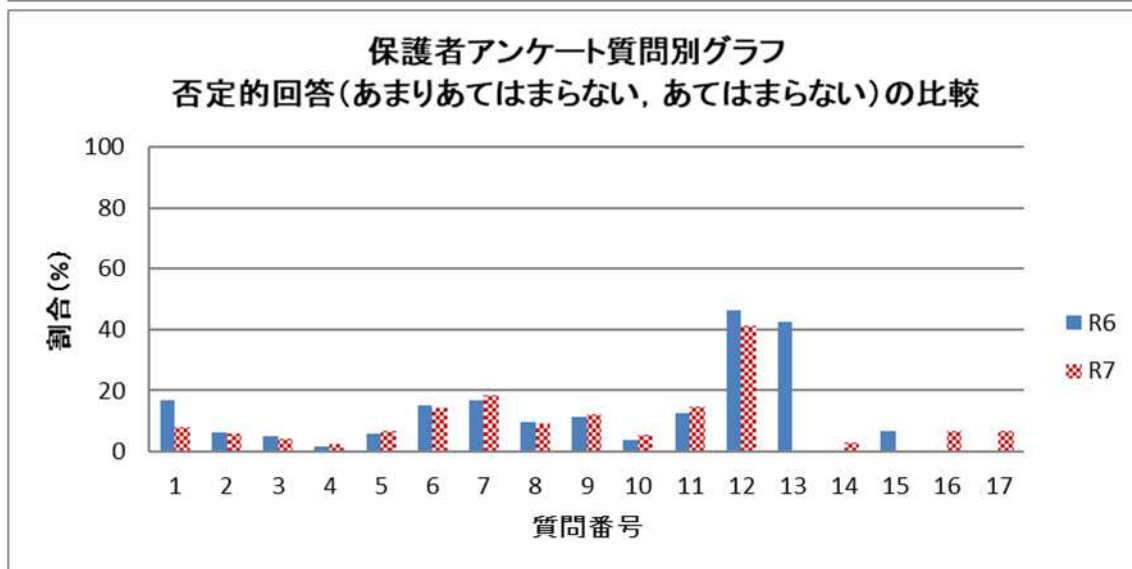
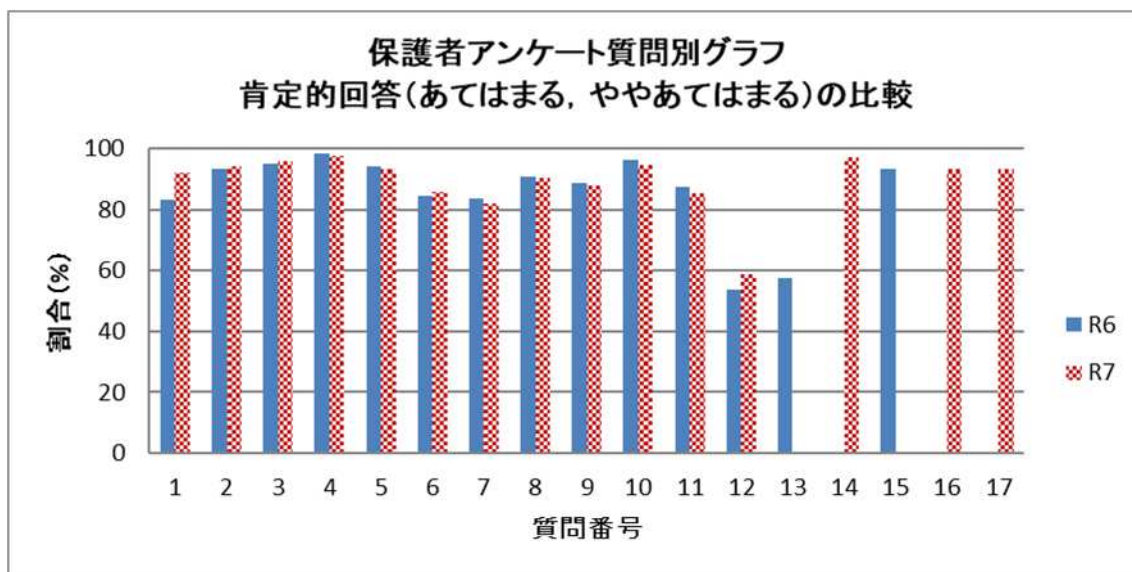
(1) 質問別総覧比較 (R6/R7 比較)

【%】

No.	質問	年 度	あてはまる	やや あてはまる	あまりあて はまらない	あてはまら ない
1	学校は、学校の教育活動や子どもたちの様子をよく知らせている。	R6	32.7	50.3	16.3	0.7
		R7	33.6	58.5	7.1	0.7
2	教職員は、児童の目線に立ったわかりやすい授業を行っている。	R6	48	45.4	5.2	1.3
		R7	42.4	51.9	5.2	0.5
3	学校は、危険箇所などへの配慮があり、子どもたちに約束やルールを守らせるなど、安全な環境づくりに心がけている。	R6	50	45.1	4.6	0.3
		R7	43.8	52.1	3.1	0.9
4	学校は、掲示物や花壇に気を配ったり、環境美化に努めたりして、潤いのある環境づくりをしている。	R6	58.2	40.2	1.6	0
		R7	54	43.6	2.4	0
5	お子様は、楽しく学校に行っている。	R6	61.4	32.7	4.6	1.3
		R7	64	29.1	6.2	0.7
6	お子様は、あいさつがしっかりできている。	R6	34.3	50.3	15	0.3
		R7	30.1	55.7	13.5	0.7
7	お子様は、「かしこい子」に育っている。(家庭での学習習慣を身につけ、取り組んでいる。)	R6	30.1	53.3	14.7	2
		R7	28.2	53.6	17.1	1.2

8	お子様は、「やさしい子」に育っている。(家庭での役割を十分認識し、率先して手伝いをしている。)	R6	47.1	43.5	8.8	0.7
		R7	43.1	47.4	8.5	0.9
9	お子様は、「がんばる子」に育っている。(さまざまなことに挑戦し、あきらめずに努力している。)	R6	38.9	49.7	10.1	1.3
		R7	38.6	49.1	11.6	0.7
10	お子様は、「げんきな子」に育っている。(学校生活を通して、体力が向上している。)	R6	62.1	34.3	2.9	0.7
		R7	60.2	34.4	4.7	0.7
11	お子様は、毎日その日の学校生活についてよく話をしている。	R6	52.6	34.6	12.1	0.7
		R7	44.3	41	12.1	2.6
12	お子様は、地域の活動に積極的に参加している。	R6	17.3	36.3	35.3	11.1
	家庭では、お子さんを地域のイベント(ラジオ体操、お祭り、清掃活動等)に参加させている。	R7	23.7	35.3	28.2	12.8
13	お子様は、学校だよりや学年だより等、学校の配付物をよく読み、生活に生かしている。	R6	14.7	42.8	35.6	6.9
		R7	調査なし			
14	学校行事は、子どもが成長できるような場になっている。	R6	調査なし			
		R7	62.1	35.1	2.4	0.5
15	教職員は、児童や保護者の相談に親身になってくれる。	R6	50.7	42.5	6.2	0.7
		R7	調査なし			
16	学校は、いじめ防止に向けた取組やいじめ等に対して対応を行っている。	R6	調査なし			
		R7	36.3	57.1	6.2	0.5
17	家庭では、お子さんに、いじめは絶対にあってはならないことをよく話をしている。	R6	調査なし			
		R7	62.6	30.8	5.7	0.9

(2) 肯定的回答／否定的回答の比較



(3) 保護者アンケート総括

保護者アンケート（R6→R7）では、ほとんどの項目で高い肯定率が維持され、特に「安全」「授業」「環境美化」「学校行事」などは引き続き高く評価された。

一方で、家庭学習習慣(No.7)、子どもの楽しさや体力(No.5・10)、家庭での会話量(No.11)など、一部の項目ではわずかな低下や不安が見られた。

また、No.12（地域活動）では肯定が53.6%→59.0%と改善したものの、依然として肯定率が低めで評価が分かれている。学校として地域とのつながりの意義を“見える化”し、家庭の負担を軽減しながら参加を促す工夫を進めたい。

総じて、R7は「努力が評価されつつ細部の課題が浮き彫りになった」一年であり、今後は「一人ひとりへの配慮」と「見える化」を軸に、改善に努めたい。

2 児童アンケート

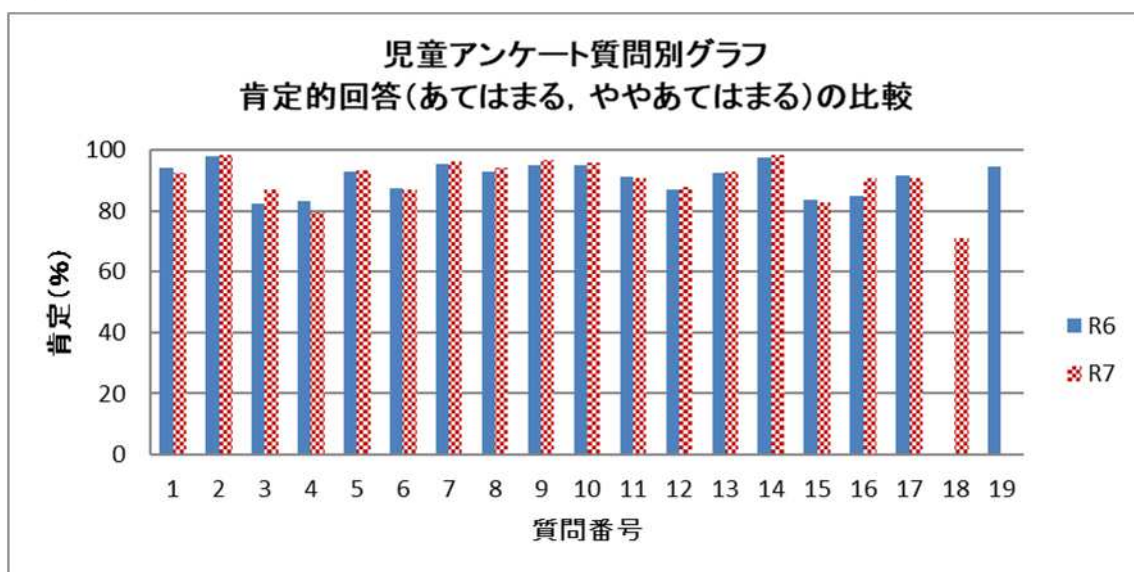
(1) 質問別総覧比較 (R6/R7 比較)

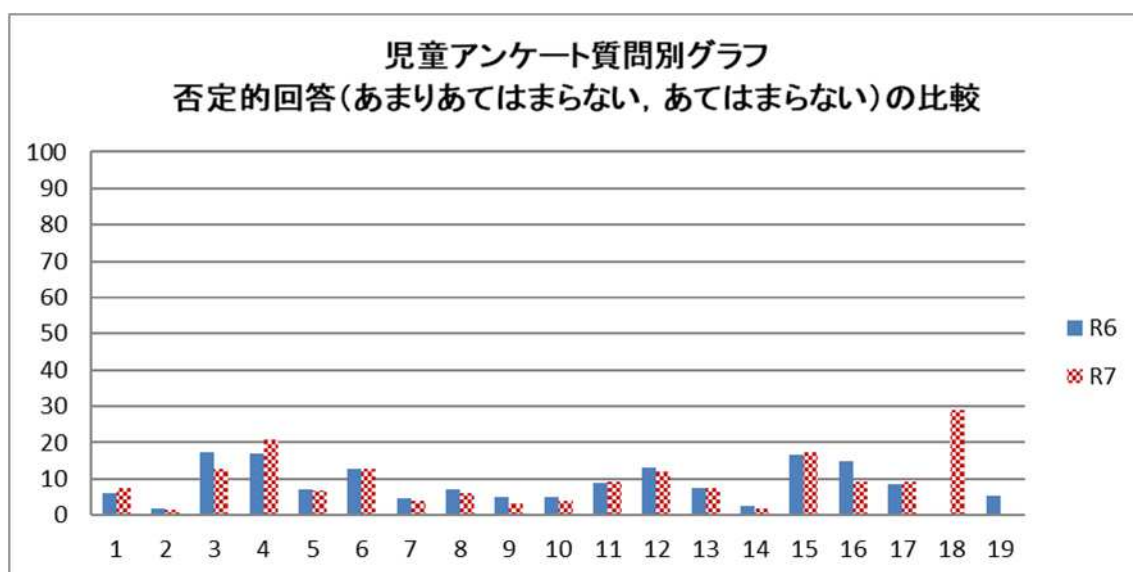
【%】

No.	質問	年 度	あてはまる	やや あてはまる	あまりあて はまらない	あてはまら ない
1	学校の生活が毎日楽しい。	R6	65	29	4	2
		R7	62.6	30	6.1	1.2
2	学校に仲のよい友だちがいる。	R6	92	6	1	1
		R7	90.9	7.6	0.8	0.7
3	元気よくあいさつしている。	R6	40.5	42	13.5	4
	あいさつがしっかりできている。	R7	47.1	40	11.4	1.5
4	休み時間に元気よく遊んでいる。	R6	55	28	13	4
		R7	53.5	25.8	14.9	5.8
5	相手を傷つけないように言葉づかいに気を付けている。	R6	56	37	6	1
		R7	55.3	38	5.8	0.9
6	毎日の授業が楽しい。	R6	50	37.4	9.4	3.2
		R7	46.4	40.7	10.7	2.2
7	先生の教え方はわかりやすい。	R6	74	21.5	3.5	1
	先生の指示や説明はわかりやすい。	R7	69.2	26.8	3.1	0.9
8	先生は、学習で自分が努力したことを認めてくれる。	R6	64	29	5	2
		R7	66.9	27.1	4.9	1.2
9	先生は、いじめなどで困っていることをとりあげてくれる。	R6	76	19	2	3
		R7	77.8	18.9	2.5	0.8
10	約束やルールを守って生活している。	R6	59	36	4	1
	「沼影小学校の生活のやくそく」やクラスのきまりを守って生活している。	R7	55	40.9	4	0.1
11	生活目標を守るように気を付けている。	R6	55	36	8	1
		R7	53.7	37.1	8.1	1.1

12	廊下は走らずに静かに歩くようにしている。(もくもく移動)	R6	41	46	11	2
		R7	41.7	46.2	10.8	1.3
13	そうじの時間は、自分の役割に責任をもって行っている。(もくもくそうじ)	R6	56	36.5	6.5	1
		R7	59.7	33	6.5	0.8
14	交通ルールを守り、安全に心がけている。	R6	77	20.5	1.5	1
		R7	77.8	20.5	1.1	0.6
15	家庭学習の時間をつくって、勉強をしている。	R6	52	31.4	12.4	4.2
		R7	51.9	30.9	12.8	4.5
16	スマートフォンや、パソコンは家の人と決めたルールを守って使っている。(使う時間、使い方)	R6	62	23	9	6
		R7	70.2	20.7	6.2	2.9
17	外に出かけるときは、家の人に外出先と帰宅時間をしっかりと伝えている。	R6	73	18.5	4.5	4
		R7	72.5	18.1	6.7	2.6
18	地域のイベント(ラジオ体操、お祭り、清掃活動など)に参加した。	R6	調査なし			
		R7	48.8	22.2	16.4	12.6
19	先生は、ひみつを守ってくれる。	R6	76	18.5	3.5	2
		R7	調査なし			

(2) 肯定的回答／否定的回答の比較





(3) 児童アンケート総括

児童アンケート (R6→R7) では、多くの項目で肯定が 80～95% 台の高い水準を維持しており、児童は総じて「楽しい」「友だちがいる」「授業がわかりやすい」と感じていることがわかる。

特に友人関係・先生への信頼・安全行動・言葉遣い・いじめ対応は非常に高い評価が続き、学校環境が子どもたちにとって安心して居心地のよいものであることが読み取れる。

一方で、遊び方 (No.4)、授業が楽しい (No.6)、家庭学習 (No.15)、外出時の家庭との約束 (No.17) など、一部では微減や課題の兆しが見られ、学年・個人差への配慮が必要と考えられる。また、地域活動への参加 (No.18) の肯定的回答の割合は 71% と、他項目より低めで、家庭事情や地域差の影響が大きいと考えられる。

来年度に向けて、①生活場面(遊び・移動)の指導強化、②家庭学習の見える化と習慣化支援、③安心して相談できる環境づくり、④ICT リテラシー教育の継続、⑤外出・安全行動のルール確認、⑥地域活動との接続の強化 等を改善のポイントとして捉え、一人ひとりに寄り添った教育活動を継続的に展開していく。

3 教職員アンケート

(1) 質問別総覧比較 (R6/R7 比較)

【%】

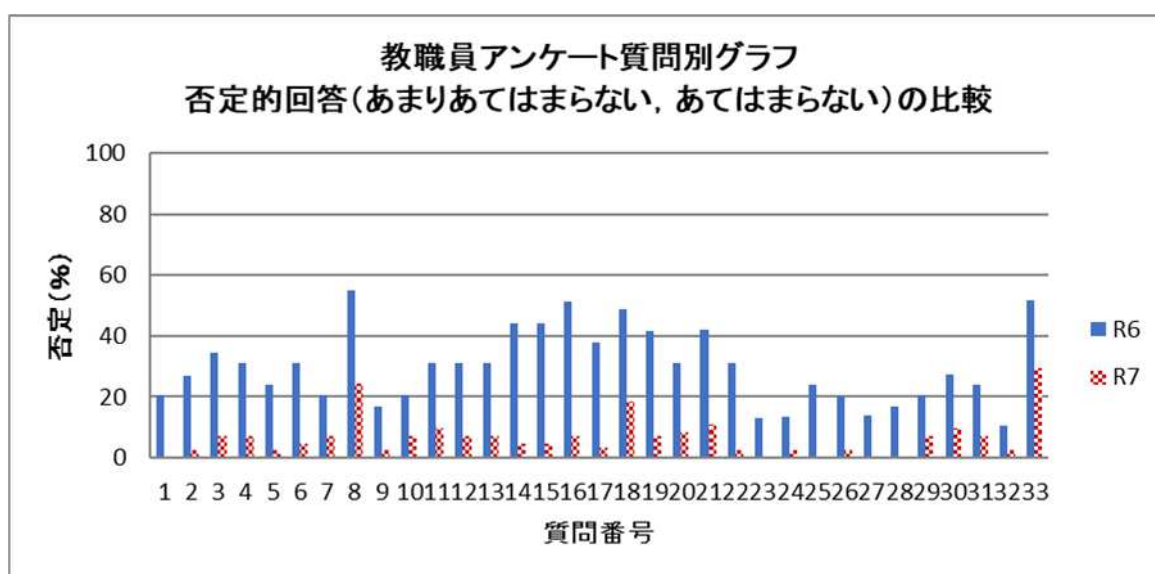
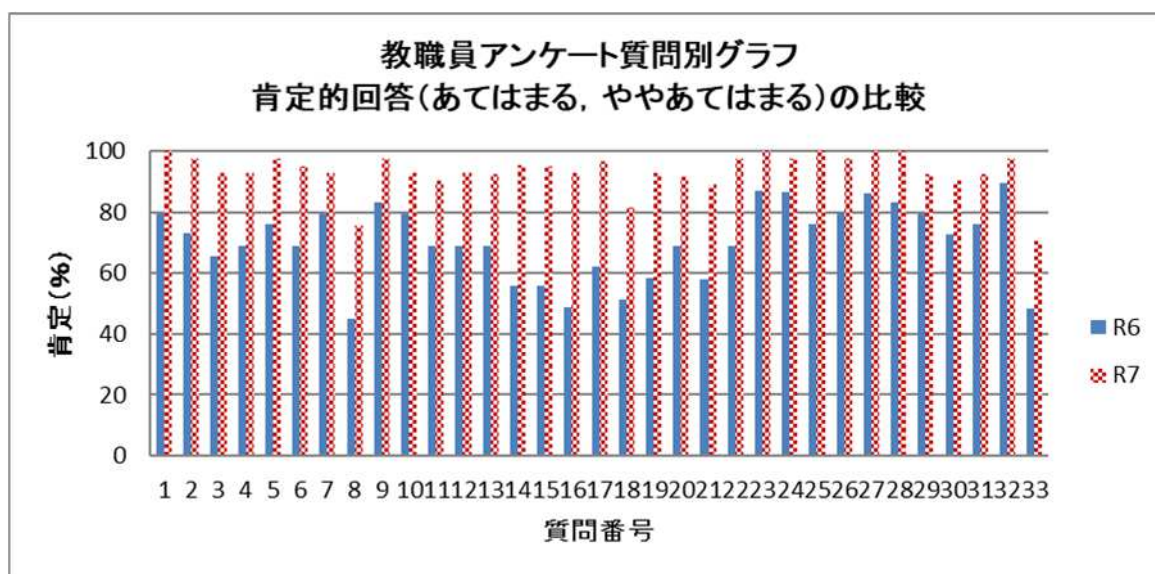
No.	質問	年 度	あてはまる	やや あてはまる	あまりあて はまらない	あてはまら ない
1	学校の教育目標を、学年や学級の教育活動に生かした指導をした。	R6	24.4	55	17.4	3.2
		R7	48.8	51.2	0	0
2	豊かな心を育てる安全で美しい教育環境の整備をした。	R6	14	59	24	3
		R7	36.6	61	2.4	0
3	担当した校務分掌等の計画的・効率的運営をした。	R6	24.4	41	31.4	3.2
		R7	26.8	65.9	7.3	0
4	充実した学習指導を行った。	R6	21	48	28	3
		R7	22	70.7	4.9	2.4
5	生徒指導・教育相談を充実させた。	R6	21	55	21	3
		R7	46.3	51.2	0	2.4
6	教育環境・安全指導を充実させた。	R6	17	52	28	3
		R7	39	56.1	2.4	2.4
7	家庭及び地域社会との連携をするよう積極的に心がけた。	R6	34.4	45	17.4	3.2
		R7	26.8	65.9	4.9	2.4
8	働き方改革を推進した。	R6	21	24	24	31
		R7	26.8	48.8	22	2.4
9	適切な児童理解に基づき、個に応じた指導方法をした。	R6	31	52	14	3
		R7	46.3	51.2	0	2.4
10	基礎学力の定着を図るため、指導法などの工夫改善をした。	R6	24.4	55	17.4	3.2
		R7	51.2	41.5	4.9	2.4
11	指導体制の工夫改善を図り、きめ細やかな個別指導をした。	R6	17	52	28	3
		R7	24.4	65.9	7.3	2.4
12	情報機器などの教材、教具の活用及び学校図書館の計画的な利用に努め、学習活動に生かした。	R6	28	41	31	0
		R7	31.7	61	4.9	2.4

13	言語環境の重要性を理解し、「場」や「人」に応じた適切な「ことば」が使われるよう言語環境を整備した。	R6	17	52	31	0
		R7	34.1	58.5	7.3	0
14	学習指導要領の趣旨を生かして、体験的な活動を重視し、児童の興味・関心を高める自発的な学習活動を展開した。	R6	17.4	38.4	41	3.2
		R7	22	73.2	2.4	2.4
15	校内研修の内容を理解し、個別最適な学び・協働的な学びを意識した指導を展開した。	R6	17.4	38.4	41	3.2
		R7	31.7	63.4	2.4	2.4
16	全教育活動を通して児童の道徳的実践力を向上させた。	R6	7.4	41.4	48	3.2
		R7	31.7	61	4.9	2.4
17	道徳の授業では、指導方法の工夫改善や授業時間を確保した。	R6	14	48	24	14
		R7	32.3	64.5	0	3.2
18	「総合的な学習の時間」において、地域や学校、児童の実態を生かし、特色ある教育活動の展開及び改善をした。	R6	10.4	41	34.4	14.2
		R7	22.2	59.3	11.1	7.4
19	潤いの時間を指導計画に基づき実施し、人間関係づくりのコミュニケーション力や表現力を育成した。	R6	17.4	41	31.4	10.2
		R7	46.4	46.4	0	7.1
20	児童会活動は、自発的・自治的活動を目指し、自主性や社会性、個性の伸長を図るよう指導した。	R6	17	52	24	7
		R7	30.6	61.1	5.6	2.8
21	クラブ活動では、自発的・自主的活動を目指し、自主性や社会性、個性の伸長を図るようにした。	R6	24	34	28	14
		R7	29.7	59.5	8.1	2.7

22	学校の教育活動は、集団への所属感を深める体験的な活動を通して、協力しながらよりよい学校を築こうとする態度を育成した。	R6	17	52	31	0
		R7	41.5	56.1	2.4	0
23	学級・学校内の生徒指導上の課題を踏まえ、月目標を中心に挨拶や名札の着用・廊下歩行など共通理解・共通行動を意識して指導した。	R6	28	59	10	3
		R7	70.7	29.3	0	0
24	いじめや問題行動の早期発見に努めるとともに、その解決のため教育相談日などを活用して適切な指導をした。	R6	31.4	55	10.4	3.2
		R7	56.1	41.5	0	2.4
25	児童が相談しやすい雰囲気や環境を整え、相談活動に努め、温かな信頼関係を築いた。	R6	31	45	24	0
		R7	61	39	0	0
26	体力の向上や健康・安全に関する指導に教育活動全体を通して適切に行った。	R6	21	59	17	3
		R7	41.5	56.1	0	2.4
27	学校施設や環境の整備・点検を計画的、組織的に実施した。	R6	34	52	14	0
		R7	56.1	43.9	0	0
28	事故防止のため、自らの安全を守る意識の定着を図るように繰り返し指導した。	R6	31	52	17	0
		R7	65.9	34.1	0	0
29	安全衛生に気をつけて学校給食を「生きた教材」として活用できるよう指導した。	R6	27.5	52	13.5	7
		R7	46.3	46.3	2.4	4.9
30	学年学級目標を達成させ、学校の教育目標を具現化できた。	R6	13.5	59	20.5	7
		R7	31.7	58.5	4.9	4.9
31	学年会は、連携・協力を目指し、計画的・効果的に実施できた。	R6	38	38	14	10
		R7	58.5	34.1	2.4	4.9

32	個人面談や日々の連携等で、家庭との連携を密にするよう心がけた。	R6	48	41.4	7.4	3.2
		R7	58.5	39	0	2.4
33	学級学年の児童は、あいさがしっかりできている。	R6	14.4	34	41.4	10.2
		R7	19.5	51.2	26.8	2.4

(2) 肯定的回答／否定的回答の比較



(3) 教職員アンケート総括

教職員アンケート (R6→R7) は、全 31 項目のうちすべての項目で肯定が上昇し、特に 20pt 以上改善が 19 項目、うち 30pt 以上改善が 5 項目と、大きな前進が見られた。

大きな改善が見られた領域は以下のとおりである。(重複あり)

○道徳・体験活動 (No.14～17)

○個に応じた指導 (No.9～11)

○学習指導・授業改善 (No.4,10,15)

○特別活動 (No.6,20～22)

○生活指導・安全 (No.23～28)

特に R7 では肯定回答の割合が 90%以上の項目が 24 項目に達し、学校全体として教職員の指導力・連携力が一段と強まった年であったとわかる。授業改善・個別支援・体験学習・生活指導など、学校全体の教育活動が大きく底上げされている。来年度は「効率化」「共有」「継続」をキーワードに、取り組みの質をさらに高めていきたい。